

「検索論理式」欄での式ID指定より軽い「履歴の編集」機能

以前に使用した式IDを利用して複雑な式を論理演算式欄で構築することができますが、この場合、組み合わせた式をすべて実行して現時点の結果を取得するため、非常に重くなります。(時間がかかり、エラーとなることも)

「履歴の編集」機能を使うと、結果一覧同士の式演算を行うので、軽くて済みます。(5000件を超えては一覧作成できませんので、その点をご容赦ください)「フィルタ」「追加先の履歴ID」はご指定不要です。

「フィルタ」「追加先の履歴ID」はご指定不要です。「文献」としてBのつく履歴が生成されます。

もしもIDを指定して過去の履歴IDに追加された際は、その一覧の拡張設定で「履歴からの追加」にも意識的にチェックを行っていただくことで件数が追加となります。

よろしくお願いたします。